

ふじのくに茶の都ミュージアム企画展

# ヨーロッパの茶の文化

～湯沸かしなどの喫茶道具～

*Tea Culture of Europe - Tea Utensils such as Samovars and Teakettles -*

2019.10.26<sup>土</sup>～2020.2.16<sup>日</sup>



**開館時間** 9:00～17:00(入場は16:30まで)

**休館日** 毎週火曜日(2月11日は開館し、2月12日は休館)、年末年始(12月27日～1月3日)

**観覧料** 常設展・企画展共通／大人(15歳以上)300円(※)、中学生以下 無料

※学生・70歳以上・障害のある方は、証明書(学生証、保険証、障害者手帳等)のご提示で無料になります。

**展示協力** <sup>ここの</sup>河野 <sup>しん</sup>真 氏(元・愛知大学教授、現・愛知大学国際問題研究所名誉研究員)



ふじのくに茶の都ミュージアム

# ヨーロッパの茶の文化～湯沸かしなどの喫茶道具～

ヨーロッパへお茶が初めて伝えられたのは17世紀頃といわれています。当時お茶は貴重で高価なものであり、王侯貴族の間で飲まれていました。宮廷では、お茶を楽しむために様々なデザインの陶磁器や銀器が茶会を飾りました。やがて、お茶は中産階級にも広まり、一般の人々の間でも広く普及しました。

本企画展では、18世紀から20世紀頃のお茶にまつわる湯沸かし道具や茶器などの約60点の資料を中心に、現在ヨーロッパで流通しているお茶商品の展示とともに、ヨーロッパ諸国(ロシア、イギリス、フランス、ドイツ、トルコ)のお茶の歴史や文化を紹介します。



1. サモワール/ロシア/1906年、2. マトリョーシカ(喫茶道具の絵柄付)/ロシア/1995年、3. 台付ケトル/イギリス/18世紀  
4. ティーキャディー(一対)/イギリス/1710年、5. ティーカップ&ソーサー/フランス/1822年、6. 台付ケトル/ドイツ/20世紀初期  
※所蔵先 1、2、4、6 河野 真氏、3、5 ふじのくに茶の都ミュージアム

## 関連イベント

### 企画展セミナー(展示解説)

日時 2019年11月3日(日)  
①13:30～②14:30～(各回30分)  
講師 元・愛知大学教授  
現・愛知大学国際問題研究所名誉研究員  
河野 真氏  
定員 各回約20人  
※予約不要。当日企画展示室へお集まりください。  
料金 無料(別途当日の観覧券が必要です。)  
場所 博物館2階企画展示室



ヨーロッパやアジアの湯沸かし道具に関する研究者の河野氏から、展示資料について解説していただきます。

### ロシアの喫茶文化とお菓子を楽しむセミナー

日時 2019年11月23日(土)  
①13:00 ②14:30(各回1時間)  
講師 世界の食文化研究家 荻野 恭子氏  
定員 各回20人  
※事前に予約が必要です。  
下記により予約をしてください。  
対象 中学生以上  
料金 1000円(別途当日の観覧券が必要です。)  
場所 博物館1階多目的ホール



ロシアの喫茶文化とお菓子を体験しながら、お茶を楽しむセミナーです。



## 「ロシアの喫茶文化とお菓子を楽しむセミナー」の予約方法

Eメール又はFAXで、件名を「ロシアお茶セミナー」とし、本文へ①氏名②電話番号・FAX番号③希望時間を記入の上、送信してください。

E-mail: [chamuseum-gakugei@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:chamuseum-gakugei@pref.shizuoka.lg.jp) FAX: 0547-46-5007

※当館からの返信をもって予約完了となります。1週間経っても申込受付の返信がない場合は、お手数ですがお電話(0547-46-5588)で御連絡ください。  
※お預かりした個人情報はこのイベント以外に使用しません。 ※定員になり次第受付を締め切ります。



御予約はこちら ▲

ふじのくに茶の都ミュージアム  
〒428-0034 静岡県島田市金谷富士見町3053番地の2  
TEL 0547-46-5588 / FAX 0547-46-5007

### 〈交通のご案内〉

- ・JR金谷駅より、バス・タクシーで約5分、徒歩約25分
- ・新東名高速道路: 島田金谷ICより約13分
- ・東名高速道路: 相良牧之原ICより約10分
- ・国道1号線: 大代ICより約10分



<http://tea-museum.jp>

